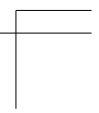
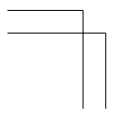
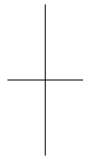
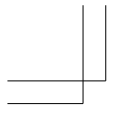


2020年度 文学部便覧のうち、履修に関する重要事項を抜粋し、掲載します。
全文は冊子版で確認できます。

181

目 次

II 文学部関係	181
1. 文学部の沿革	183
2. 東京大学文学部規則	189
教育研究上の目的，学科及び専修課程，専修課程の所属，進学資格， 再入学・学士入学及び転学部，学期，授業科目の履修方法，長期履修学生制度， 単位，授業科目の発表，履修科目の届出，単位の修得，卒業の資格， 課程修了の認定等，卒業論文の提出，試験成績の評価，附則， 別表1（学科必修科目），別表2（専修課程必修科目）	
3. 東京大学文学部規則取扱内規	200
演習，指導教員，他学部科目の認定，修了試験，卒業，転専修課程，再入学， 学士入学，転学部，附則，別表3（演習の履修方法）	
4. 東京大学文学部成績評価基準	207
5. 東京大学文学部研究生内規	208
6. 学生注意事項	210
7. 2020年度 文学部の行事および重要な手続き一覧	215
8. 2020年度 認定科目一覧	217
9. 教育職員免許状について（認定科目一覧）	256
10. 学芸員となる資格の取得について	270
11. 教員氏名	273
12. 文学部所蔵資料の利用について	290
13. 視聴覚教育センターについて	293
14. 情報基盤センター教育用計算機システム端末，無線LANの利用について	295
15. 文学部学友会会則	296
16. 文学部学友会会則施行規則	298
17. 英訳一覧	300
文学部教室・研究室案内図	307
教員研究室一覧	314
2020年度授業日程	表紙裏
文学部研究室電話番号一覧	裏表紙裏
文学部電話番号一覧	裏表紙



2. 東京大学文学部規則

制定	昭26. 7. 10		
改正	同28. 11. 17	同32. 3. 19	同34. 3. 17
	同35. 1. 26	同36. 9. 19	同37. 9. 25
	同39. 2. 18	同39. 3. 17	同40. 4. 1
	同41. 4. 1	同42. 4. 1	同43. 5. 2
	同44. 4. 15	同46. 4. 1	同47. 4. 1
	同48. 4. 1	同49. 4. 1	同50. 4. 1
	同52. 4. 1	同53. 6. 27	同54. 4. 1
	同54. 4. 17	同55. 4. 1	同56. 5. 19
	同58. 4. 1	同59. 4. 1	同63. 4. 19
平	5. 4. 1	同 6. 4. 1	同 7. 4. 1
同	8. 4. 1	同10. 4. 1	同14. 4. 1
	同17. 4. 1	同19. 4. 1	同20. 4. 1
	同26. 4. 1	同27. 4. 1	同28. 4. 1
	同30. 4. 1		

(教育研究上の目的)

第1条 東京大学文学部（以下「本学部」という。）は、人間の思想、歴史、言語、社会に対する真の理解を目指して、文献読解、資料分析、実験・調査といった基本的な方法論を身につけ、広く深い素養を獲得することを通じて、人類文化の継承と発展に寄与しうる人材を育成することを教育研究の目的とする。

(学科及び専修課程)

第1条の2 本学部には次の学科及び専修課程を置く。

人文学科

哲学、中国思想文化学、インド哲学仏教学、倫理学、宗教学宗教史学、美学芸術学、イスラム学、日本史学、東洋史学、西洋史学、考古学、美術史学、言語学、日本語日本文学（国語学・国文学）、中国語中国文学、インド語インド文学、英語英米文学、ドイツ語ドイツ文学、フランス語フランス文学、スラヴ語スラヴ文学、南欧語南欧文学、現代文芸論、西洋古典学、心理学、社会心理学、社会学

(専修課程の所属)

第2条 学生は前条に定めるいずれかの専修課程に属するものとする。

- 2 転専修課程を願い出たときは、学年の始めに許可することがある。
- 3 転専修課程後の在学年数は、原則として2年以上とする。

(進学資格)

第3条 教養学部から本学部へ進学するには、教養学部において所定の授業科目及び単位数を修得していなければならない。

(再入学・学士入学及び転学部)

第4条 東京大学学部通則（以下「学部通則」という。）第9条及び第10条に規定する再入学・学士入学及び転学部を志願する者の取扱については、別に定める。

(学 期)

第5条 学期は、学部通則第4条第2項及び第3項の定めるところによる。

(授業科目の履修方法)

第6条 学生は、別表1に定める必修科目を履修しなければならない。その他任意に本学部における授業科目を履修することができる。

- 2 他学部の授業科目を履修しようとするときは、本学部長及び関係学部長の許可を受けなければならない。
- 3 学部通則第14条の2、第14条の3及び第14条の5の定めるところにより、外国の大学において修得した科目及び単位については、別表2に定める専修課程必修科目又は必修科目以外の科目及び単位に相当する科目及び単位として認定することができる。
- 4 前項に定める専修課程必修科目に設定できる単位数は、6単位を超えないものとする。

(長期履修学生制度)

第7条 学部通則第2条第2項に定めるところにより、学生が修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、教授会の議を経て、その計画的な履修を認めることができる。

- 2 前項に定めるもののほか、長期履修学生の取扱いに関し必要な事項は、別に定める。

(単 位)

第8条 授業科目は、15時間をもって1単位とする。

(授業科目の発表)

第9条 授業科目は、学年の初めに発表する。

(履修科目の届出)

第10条 学生は、当該学年に履修しようとする授業科目を所定の期間内に、本学部長に届け出なければならない。

- 2 前項の届け出をしない授業科目は、履修することができない。

(単位の修得)

第11条 履修した授業科目の単位の修得は、試験により証明する。

- 2 試験の期日及び方法は、その都度発表する。

(卒業の資格)

第12条 本学部を卒業するためには、別表1に定める必修科目の単位を含めて76単位以上を修得しなければならない。

(課程修了の認定等)

第13条 本学部を卒業するにあたり、専修課程修了の認定を受けようとする者は、別表2に定める各専修課程の必修科目を履修し、所定の単位を修得しなければならない。

(卒業論文の提出)

第14条 卒業論文の提出期日は、学年の初めに発表する。

- 2 卒業論文の題目は、定められた期日までに当該専修課程主任教員に届け出なければならない。

(試験成績の評価)

第15条 試験の成績の評価は、優上、優、良、可及び不可の5等とし、優上、優、良及び可を合格、不可を不合格とする。

- 2 学部通則第14条の2、第14条の3及び第14条の5の定めるところにより、外国の大学において履修した科目にかかる試験成績の評価については、前項の例によるほか、合格又は不合格とすることができる。

附 則

1. この規則は、平成11年4月1日から施行する。
2. 平成11年4月1日以前に進入学し、引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則

1. この規則は、平成13年4月1日から施行する。
2. 平成13年4月1日以前に進入学し、引き続き在学する者については、なお従前の例による。

附 則

1. この規則は、平成16年4月1日から施行する。
2. 平成16年3月31日以前に進学又は入学し、引き続き在学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1. この規則は、平成17年4月1日から施行する。ただし、改正後の東京大学文学部規則第14条第2項の規定は、平成16年4月1日から適用する。
2. 平成17年3月31日以前に進学又は入学し、引き続き在学する者については、改正後の別表1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

1. この規則は、平成19年4月1日から施行する。
2. 平成20年3月31日以前に進学又は入学し、引き続き在学する者については、改正後の別表1及び別表2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1. この規則は、平成28年4月1日から施行する。
2. 平成28年3月31日以前に本学部に進学又は入学した者については、改正後の第1条、第1条の2、第2条、第6条、第12条、第15条、別表1及び別表2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3. 施行日から平成30年3月31日までに本学部に進学又は入学した者については、改正後の第1条，第1条の2，第2条，第6条第1項及び別表1の規定にかかわらず，なお従前の例による。
4. 改正後の人文学科については，平成30年4月1日以後から進学又は入学できるものとする。
5. この改正に伴う経過措置は，別に定める。

附 則

この規則は，平成30年4月1日から施行する。

別表1

(学 科 必 修 科 目)

学 科	必 修 科 目	単 位
人文学科	①各専修課程の必修科目（別表2による） 又は ②以下の専修課程が開講する講義，演習40単位（ただし概論・概説8単位，演習8単位を含む） 言語学，日本語日本文学（国語学），日本語日本文学（国文学），中国語中国文学，インド語インド文学，英語英米文学，ドイツ語ドイツ文学，フランス語フランス文学，スラヴ語スラヴ文学，南欧語南欧文学，現代文芸論，西洋古典学	

備考

- 1 転専修課程・再入学・学士入学・転学部したすべての学生は，当該専修課程の必修科目（別表2）を履修しなければならない。
- 2 必修科目の②は，以下の専修課程に進学した学生のみ選択できる。
 インド語インド文学，英語英米文学，ドイツ語ドイツ文学，フランス語フランス文学，南欧語南欧文学，西洋古典学

別表2

(専修課程必修科目)

専修課程	必修科目	単位数	計
哲 学	哲学概論	4	44
	西洋哲学史概説第1部	4	
	西洋哲学史概説第2部	4	
	哲学特殊講義	12	
	哲学演習	8	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
中国思想文化学	中国思想文化学概論	8	42
	中国思想文化史概説		
	中国語中国文学	4	
	東アジア史	4	
	中国思想文化学特殊講義	8	
	中国思想文化学演習	6	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
インド哲学 仏 教 学	インド哲学概論	8	40
	インド哲学史概説		
	仏教概論		
	比較仏教論		
	インド哲学仏教学特殊講義	12	
	インド哲学仏教学演習	8	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）又は特別演習 （特別演習指導を含む）	12	

倫 理 学	倫理学概論	4	40		
	西洋倫理思想史概説	4			
	東洋倫理思想史概説	4			
	倫理学特殊講義	8			
	倫理学演習	8			
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12			
宗 教 学 宗 教 史 学	宗教学概論 } 宗教史概説 }	8	40		
	宗教学宗教史学特殊講義	12			
	宗教学演習 } 宗教史学演習 }	8			
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12			
	美 学 芸 術 学	美学概論		4	44
		美学芸術学特殊講義		12	
美学芸術学演習		8			
文献講読		8			
卒業論文（卒業論文指導を含む）		12			
イ ス ラ ム 学		イスラム学概論	4	38	
	イスラム史概説	2			
	イスラム学特殊講義	10			
	イスラム学演習	6			
	アラビア語学	4			
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12			
日 本 史 学	史学概論	2	42		
	日本史学特殊講義	12			
	東洋史学特殊講義	4			
	西洋史学特殊講義	4			
	日本史学演習	8			
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12			

東洋史学	史学概論	2	48
	東洋史学研究入門	2	
	東洋史学特殊講義	16	
	日本史学特殊講義	4	
	西洋史学特殊講義	4	
	東洋史学演習	8	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
西洋史学	史学概論	2	48
	西洋史学研究入門	2	
	西洋史学特殊講義	16	
	日本史学特殊講義	4	
	東洋史学特殊講義	4	
	西洋史学演習	8	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
考古学	史学概論	2	44
	考古学概論	4	
	考古学特殊講義	16	
	考古学演習	6	
	野外考古学	4	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
美術史学	史学概論	2	46
	哲学概論	4	
	美学芸術学		
	美術史学特殊講義	16	
	美術史調査方法論		
	日本史学特殊講義	4	
	東洋史学特殊講義		
	西洋史学特殊講義		
	考古学特殊講義	8	
	美術史学演習		
卒業論文（卒業論文指導を含む）	12		

言語学		言語学概論	4	40
		言語学特殊講義	12	
		言語学演習	8	
		音声学	2	
		比較言語学	2	
		卒業論文（卒業論文指導を含む）又は特別演習 （特別演習指導を含む）	12	
日本語 日本文学	(国語学)	国語学概論	4	44
		言語学概論	4	
		国語学特殊講義	10	
		国文学特殊講義	2	
		国語学演習	12	
		卒業論文（卒業論文指導を含む）又は特別演習 （特別演習指導を含む）	12	
	(国文学)	国文学概論	2	42
		日本書誌学概論	2	
		国語学概論	2	
		国文学特殊講義	12	
		国文学演習	12	
		卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
中国語 中国文学		中国語学概論	8	44
		中国文学史概説		
		中国思想文化学	4	
		中国語学中国文学特殊講義	8	
		中国語学中国文学演習	12	
		卒業論文（卒業論文指導を含む）又は特別演習 （特別演習指導を含む）	12	

インド語学 インド文学	印度語学概論	6	40
	印度文学史概説	6	
	印度語学印度文学特殊講義	10	
	印度語学印度文学演習	6	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）又は特別演習 （特別演習指導を含む）	12	
英語学 英米文学	英語学概論	4	48
	英文学史概説	4	
	米文学史概説	4	
	英語学英米文学特殊講義	8	
	英語学英米文学演習	16	
卒業論文（卒業論文指導を含む）	12		
ドイツ語学 ドイツ文学	ドイツ語学概論	4	48
	ドイツ文学史概説	4	
	ドイツ語学ドイツ文学特殊講義	12	
	ドイツ語学ドイツ文学演習	16	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
フランス語学 フランス文学	フランス語学概論	4	48
	フランス文学史概説	4	
	フランス語学フランス文学特殊講義	12	
	フランス語学フランス文学演習	16	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
スラヴ語学 スラヴ文学	スラヴ語学概論	4	48
	スラヴ文学史概説	4	
	スラヴ語学スラヴ文学特殊講義	16	
	スラヴ語学スラヴ文学演習	12	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
南欧語学 南欧文学	イタリア語学概論	8	44
	イタリア文学史概説		
	イタリア語学イタリア文学特殊講義	8	
	イタリア語学イタリア文学演習	16	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	

現代文芸論	現代文芸論概説	4	44
	比較文学概論	4	
	近代語学特殊講義	4	
	近代文学特殊講義	8	
	現代文芸論演習	8	
	近代語学近代文学演習	4	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
西洋古典学	西洋古典古代史	4	44
	西洋哲学史概説第1部	4	
	西洋古典学特殊講義	16	
	西洋古典学演習	8	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
心理学	心理学概論	4	42
	心理学特殊講義	8	
	心理学演習	6	
	心理学実験演習	12	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	
社会心理学	社会心理学概論	4	48
	社会心理学特殊講義	12	
	社会心理学演習	8	
	社会心理学実験実習	4	
	社会心理学調査実習	4	
	社会心理学統計	4	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）又は特別演習 （特別演習指導を含む）	12	
社会学	社会学概論	4	44
	社会学史概説	4	
	社会学特殊講義	12	
	社会学演習	8	
	社会調査	4	
	卒業論文（卒業論文指導を含む）	12	

3. 東京大学文学部規則取扱内規

制定	昭55.	4.	1	
改正	同57.	4.	1	同59. 4. 1
	平元.	4.	1	同 2. 4. 1
	同 5.	4.	1	同 7. 4. 1
	同 9.	4.	1	同11. 4. 1
	同13.	4.	1	同14. 4. 1
	同27.	4.	1	同28. 4. 1
	同29.	4.	1	同31. 4. 1
	令 2.	4.	1	

1. 演習（規則第6条，12条，13条）

- (1) 学生は、別表3に定める所属専修課程の演習履修方法により履修し、所定の単位数を修得しなければ卒業できない。
- (2) 別表1必修科目②により卒業しようとする学生は、前項(1)にかかわらず、別表1必修科目②に該当する専修課程の演習を6個ターム以上にわたって8単位修得しなければ卒業できない。
- (3) 前項(2)の演習に、教養学部持ち出し専門科目の演習は含めないものとする。また、外国において修得した科目及び単位を前項(2)の演習として認定することはできないものとする。

2. 指導教員（規則第2条）

- (1) 学生は、所属する専修課程の専任教員を指導教員としなければならない。
- (2) 指導教員は、学生の所属する専修課程が決定を行うものとする。
- (3) 指導教員の変更を希望する学生は、所属専修課程の承認を経て、願い出なければならない。

3. 他学部科目の認定（規則第6条）

所定の手続（他学部科目履修願）を経て修得した他学部科目の単位については、必修科目単位以外の文学部単位として認めることができる。

4. 修了試験（規則第10条）

試験の方法、レポートの題名等は、担当教員の指示による。なお、追試験は特別の事由がない限り行なわない。

5. 卒業（規則第12条，13条）

- (1) 学生は、所属する専修課程を修了して卒業しなければならない。ただし、別表1必修科目②により卒業しようとする学生（転専修課程・再入学・学士入学・転学部した者を除く）は、卒業年度の所定の期間内に、所属専修課程主任教員の承認を経て願い出ることにより、専修課程修了の認定を受けずに卒業することができる。
- (2) 所属する専修課程を修了して卒業する学生は、卒業論文もしくは特別演習（ただし、

必修科目に指定している専修課程の場合)のいずれかを、受験しなければならない。また、専修課程修了の認定を受けずに卒業する者は、卒業論文および特別演習を受験することはできない。

- (3) 卒業見込者で、その後卒業を延期しようとする者は、所属専修課程主任教員の承認を経て所定の期間内にその旨願い出なければならない。専修課程修了の認定を受けずに卒業する場合も同様とする。
- (4) 卒業論文または特別演習を受験した者で、その年度に卒業しない者は、卒業論文または特別演習の受験届の撤回を、所定の期間内に願い出なければならない。
- (5) 卒業を延期した学生は、次年度にあらためて、卒業に関する所定の手続きをとらなければならない。
- (6) 卒業に必要な必修科目(別表1・2)に該当する授業科目は、毎学年初めに定めたもの以外には認めない。

6. 転専修課程(規則第2条)

- (1) 他の専修課程に所属を変更しようとする場合、教授会の議を経て他の専修課程に転専修課程を許可することがある。
- (2) 本学部において2年を超えて在学した者の転専修課程、および再度の転専修課程はこれを許可しない。
- (3) 転専修課程を許可された者の卒業に要する修業年限は、2年とする。ただし、修得単位等により、教授会の議を経て修業年限を1年とすることができる。
- (4) 転専修課程を志望する者は、所定の期間内に願い出るものとする。
- (5) 転専修課程を許可された者は、許可された専修課程を修了して卒業しなければならない。

7. 再入学(規則第4条)

- (1) 再入学を願い出る者は、退学前に在学した専修課程を志願すべきものとする。
- (2) 学部通則第24条第1号により退学を命ぜられた者、および第3条の期間を満了した者の再入学はこれを許可しない。
- (3) 退学の年度の終わりより3ヶ年以上を経過した者の再入学、退学して3ヶ月以上を経過していない者の再入学、および再度の再入学はこれを許可しない。ただし、特別の事情があるときは、調査の上、教授会の議を経てこれを許可することがある。
- (4) 再入学を許可された者の卒業に要する修業年限は、2年とする。ただし、前在学中の修得単位等により、教授会の議を経て修業年限を1年とすることができる。なお、前在学中に修得した授業科目の単位は、教授会の議を経て、本学部規則第12条および第13条の単位中に含めることができる。
- (5) 再入学を許可された者の在学年限は前在学期間と通算して4年とする。1年未満の在学期間は、これに算入しない。ただし、特別の事情があるときは、教授会の議を経てこれを5年とすることができる。
- (6) 再入学を許可された者の休学期間は2年(修業年限1年の者は1年)とする。ただし、休学期間は前在学中の休学期間と通算して4年を超えることができない。

- (7) 再入学を志望する者は、所定の期間内に願出するものとする。
- (8) 再入学を許可された者は、許可された専修課程を修了して卒業しなければならない。

8. 学士入学（規則第4条）

- (1) 次の各号の1に該当し、本学部への入学を志願する者は、学部通則第10条並びに文学部規則第4条の規定に基づき、教授会の議を経て、入学を許可することがある。本学部では、これを学士入学という。
 - 1) 本学部を卒業した者
 - 2) 本学の他の学部を卒業した者
 - 3) 修業年限4年以上の他の大学の学部を卒業した者
 - 4) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
 - 5) 外国において、第3号に相当する課程を修了した者
- (2) 学士入学を許可する場合にあっては、教授会の議を経て入学試験を行う。
- (3) 学士入学を許可された者の卒業に要する修業年限は2年とする。ただし、本学部を卒業した者が、学士入学を許可された専修課程主任教員の承認を経て、修業年限の短縮を願い出たときは、前在学中の修得単位等により、教授会の議を経て修業年限を1年とすることができる。
- (4) 本学部を卒業した者が、学士入学を許可された専修課程主任教員の承認を経て、前在学中に修得した本学部の授業科目の単位の認定を願い出たときは、教授会の議を経て本学部規則第12条および第13条の単位の中を含めることができる。これによって認定できる単位は、卒業時に修得した単位から卒業に必要な単位を差し引いた残りの単位のうち、下に掲げる各項目に該当する範囲とする。
 - 1) 学士入学を許可された専修課程の必修科目のうち、演習及び概論・概説についてはそれぞれ4単位まで認定することができる。
 - 2) 学士入学を許可された専修課程の必修科目以外の単位として、32単位まで認定することができる。
- (5) 学士入学を許可された者は、許可された専修課程を修了して卒業しなければならない。

9. 転学部（規則第4条）

〔他学部より〕

- (1) 他の学部より本学部へ転学部を志願する者は、現に在学する学部の承認を経て、文学部長に願出するものとする。ただし、前学部において2年を超えて在学した者あるいは4年を超えて休学した者の転学部は、これを許可しない。
- (2) 転学部を許可された者の卒業に要する修業年限は、2年とする。ただし、前学部在学中の修得単位等により、教授会の議を経て修業年限を1年とすることができる。なお、前学部在学中に修得した本学部の授業科目の単位は、教授会の議を経て、本学部規則第12条および第13条の単位の中を含めることができる。
- (3) 転学部を許可された者の在学年限および休学期間は、前学部で定められた在学年限および休学期間から、すでに在学あるいは休学した期間を差し引いた残りとする。

- (4) 転学部を志望する者は、所定の期間内に願い出るものとする。
- (5) 転学部を許可された者は、許可された専修課程を修了して卒業しなければならない。
〔本学部より〕
- (6) 本学部学生が、他の学部に転学部または他の大学に転入学を志願する場合には、教授会の議を経ることとし、当該学部または大学の要求があれば受験許可書を発行する。

附 則

1. この内規は、平成16年4月1日から施行する。
2. 平成16年3月31日以前に進学又は入学した者で引き続き在学する者については、改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成22年12月16日から施行し、平成22年4月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

1. この規則は、平成28年4月1日から施行する。
2. 平成28年3月31日以前に本学部に進学または入学したものについては、改正後の第1条、第5条、第6条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
3. 施行日から平成30年3月31日までに本学部に進学又は入学したものについては、改正後の第1条第2項、第1条第3項、第5条、第6条、第8条第3項、第8条第4項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

別表3 (平成29年度以降進学者・入学者用)

(演習の履修方法)

専修課程	A 演習の 必修 単位数	B 必要条件となる演 習の履修ターム数 および単位数	C 留学(休学)中に修 得した単位の取扱 い	D 持ち出し専門科目 演習の取扱い
哲学	8	6個ターム6単位	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
中国思想 文化学	6	6個ターム6単位	演習に認定しない	演習に認定しない 文学部科目に認定
インド哲学 仏教学	8	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
倫理学	8	6個ターム6単位	演習に認定しない	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
宗教学 宗教史学	8	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 4単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
美学芸術学	8	6個ターム6単位	演習に認定しない	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
イスラム学	6	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	演習に認定しない 文学部科目に認定
日本史学	8	8個ターム8単位	演習に認定しない	演習に認定しない 文学部科目に認定
東洋史学	8	8個ターム8単位	演習に認定しない	演習に認定しない 文学部科目に認定
西洋史学	8	8個ターム8単位	演習に認定しない	演習に認定しない 文学部科目に認定
考古学	6	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	演習に認定しない 文学部科目に認定
美術史学	8	8個ターム8単位	演習に認定しない	演習に認定しない 文学部科目に認定

専修課程	A 演習の 必修 単位数	B 必要条件となる演 習の履修ターム数 および単位数	C 留学(休学)中に修 得した単位の取扱 い	D 持ち出し専門科目 演習の扱い
言語学	8	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
日本語日本文 学(国語学)	1 2	8個ターム8単位	左記B欄のうち、 4単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
日本語日本文 学(国文学)	1 2	8個ターム8単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
中国語 中国文学	1 2	6個ターム6単位	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
インド語 インド文学	6	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 4単位まで認定	演習に認定しない 文学部科目に認定
英語英米文学	1 6	8個ターム8単位	左記B欄のうち、 4単位まで認定 (半年につき2単 位まで)	A欄に認定またB 欄のうち、2個ター ム2単位まで認定
ドイツ語 ドイツ文学	1 6	8個ターム8単位	左記B欄のうち、 4単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
フランス語 フランス文学	1 6	8個ターム8単位	演習に認定しない	A欄に認定またB 欄のうち、2個ター ム2単位まで認定
スラヴ語 スラヴ文学	1 2	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
南欧語 南欧文学	1 6	8個ターム8単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定

専修課程	A 演習の 必修 単位数	B 必要条件となる演 習の履修ターム数 および単位数	C 留学(休学)中に修 得した単位の取扱 い	D 持ち出し専門科目 演習の取扱い
現代文芸論	現代文芸 論演習 8	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
	近代語学 近代文学 演習 4			
西洋古典学	8	8個ターム8単位	演習に認定しない	演習に認定しない 文学部科目に認定
心理学	6	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	演習に認定しない 文学部科目に認定
社会心理学	8	6個ターム6単位	左記B欄のうち、 2単位まで認定	左記B欄には認定 しないが、A欄に 認定
社会学	8	8個ターム8単位	左記B欄のうち、 4単位まで認定	演習に認定しない 文学部科目に認定

4. 東京大学文学部成績評価基準

1. 成績の評価は、優上、優、良、可及び不可の5等とし、優上、優、良及び可を合格、不可を不合格とする。

区分	基準
優上	当該科目の目標を十分達成し、極めて優秀な成果をおさめている
優	当該科目の目標を十分達成している
良	当該科目の目標を達成している
可	当該科目の目標を最低限達成している
不可	当該科目の目標を達成していない

2. 成績評価区分及び成績評価基準はすべての授業科目に適用する。

3. 平成26年度夏学期開講科目から適用する。

6. 学生注意事項

〔学務システム（以下UTAS）の作動状況等により、履修手続等を含め、下記記載内容に変更が生じることがある。については、掲示には常に注意すること。〕

1. 履修手続について（学部規則第10条）

以下の履修手続は、UTASにより各自で行うこと。

履修しようとする科目は学期ごとに所定の期間内に登録すること。ただし、同一時間に重複する複数の科目は登録できない。登録期間は掲示により各自確認すること。登録した履修科目が全て登録処理されているか、所定の期間内に確認を行うこと。

2. 試験方法について（学部規則第11条）

本学部の試験方法およびレポートの題名等については、直接、授業担当教員から指示を受けること。

3. 単位確認について

学生は、UTASにより、自分の履修した単位あるいは履修しようとする単位を毎学期確実に把握しておくこと。なお、本学部ではキャップ制（履修登録単位数上限）は定めていない。また、本学部ではGPA制度は正式に採用していない。

4. 成績評価の確認について

成績の評価が明らかに担当教員の誤りであると思われる場合は、成績評価の確認を申請することができる。所定の期間に「成績評価の確認願」を教務係に提出すること。期間は別途掲示する。成績評価の確認を申請するには具体的な理由が必要となるため留意すること。

5. 卒業要件の確認について（学部規則第12・13条，学部規則取扱内規第1項）

学生は、進学年度の便覧を参照し各自で卒業要件を確認すること。必修科目や演習の必要単位数等は専修課程ごとに定めているため、十分に注意すること。なお卒業に必要な総単位数は76単位（ただし2015年度（平成27年度）以前進学者は84単位）である。

6. 卒業・留年見込届の提出について

4年生（本年度進入学した修業年限1年の者を含む）は所定の期日までに卒業・留年見込届を教務係に提出すること。卒業・留年見込届には「卒業論文題目届」「特別演習受験届」および「学科卒願」が含まれている。手続き詳細は別途掲示する。

7. 卒業論文の提出について（学部規則第14条）

卒業論文を提出しようとする者は、製本または仮とじをしたもの（ノート類を含む）に論文添付票を貼付して、所定の期日に指定の場所に提出すること。手続き詳細は別途掲示する。

8. 卒業・留年変更届の提出について

卒業・留年見込届を提出後、内容に変更があった者は所定の期日までに卒業・留年変更届を教務係に提出すること。卒業・留年変更届には「学科卒願」が含まれている。

9. 進路調査票の提出について

本年度卒業見込者は、進路調査票を所定の期日までにUTASから入力すること。

10. 学生定期健康診断の受診について

学生は、就職、大学院受験、奨学金出願その他に証明が必要となるので定期健康診断を必ず受診すること。

11. 台風接近に伴う授業の休講措置等について

気象庁より特別警報もしくは暴風警報が東京23区のいずれかに発表された場合は、以下の基準に従い、人文社会系研究科・文学部の授業を休講とする。

授業開始時刻の2時間前に警報発令中であるか、あるいは開始時刻に発令中の時限は休講とする。

上記にかかわらず、利用する交通機関に著しい乱れがある場合、あるいは、通学に危険が伴うと判断される場合は、無理に登校せず、安全確保を第一とすること。

12. 留学・休学・復学・退学願について

留学・休学・復学および退学を願い出る場合には、専修課程主任教員と相談し了解を得たうえで、希望開始日の1ヵ月前までに所定の様式により教務係に提出すること。

13. UTokyo Accountについて

UTASやITC-LMS、自動証明書発行機等の利用にはUTokyo Accountが必要となる。パスワードは変更後1年間有効である。パスワードが期限切れの場合は予め利用者メニュー以外の各サービスが利用できなくなるので、注意すること。

14. 連絡先の変更について

現住所、電話番号、メールアドレス等を変更した者は、すみやかにUTASの「学生住所等変更」から最新の情報を登録すること。保護者の連絡先が変更になった場合は教務係に申し出ること。特にメールアドレスの設定が誤っていると、UTASの掲示内容や授業・事務手続きに関する重要な通知が届かない可能性があるため、注意すること。

15. 姓名の変更について

改姓または改名した場合には、所定の様式により教務係に届け出ること。

16. 証明書の発行について

自動証明書発行機（法文2号館1階事務室前）で発行できる証明書の種類は、在学証明書・成績証明書（前期課程・後期課程※和文のみ）・学割証・卒業見込証明書（4年生のみ）である。時期により交付できない種類の証明書もあるので注意すること。自動発行機から発行できない証明書を請求する場合は、日数に余裕を持って教務係の窓口で相談すること。

17. 事務部窓口業務について

(1) 事務部窓口業務時間は、次のとおりである。

月曜日～金曜日 午前9時～午後1時
午後2時～午後5時

(2) 事務部窓口業務の休業は次のとおりである。

- ① 東京大学学部通則第五条第1項第1・2号
- ② 年末年始（12月28日～1月4日）
- ③ 五月祭の前日の午後および当日全日
- ④ 大学入学共通テストの前日の午後および当日全日
- ⑤ 東京大学入学者選抜第二次学力試験（前期日程）の前日の午後および当日全日
- ⑥ 本学部学士入学の選抜試験の前日の午後および当日全日
- ⑦ 本学大学院人文社会系研究科修士課程の選抜試験の前日の午後および当日全日
- ⑧ その他

(3) 前項②～⑦は予定であるので、決定次第掲示する。⑧のその他についてもその都度掲示する。

18. 掲示について

文学部掲示場は、文学部事務部入口のアーケードに設けてある。授業・厚生その他学務に関することは掲示場のほかUTAS掲示機能および文学部ウェブサイト「在学生ポータル」(<http://www.l.u-tokyo.ac.jp/student.html>)により周知するので常に注意すること。なお、学生一般に対する諸手続事項のうち、あらかじめ決定または予定されている事項については本学部便覧の「7. 2020年度文学部の行事および重要な手続き一覧」に記載してあるので熟読のうえ手続に遺漏のないよう注意すること。

19. 手続き関連ウェブサイト情報

学務システムUTAS (<https://utas.adm.u-tokyo.ac.jp/campusweb/>)



東京大学文学部「在学生ポータル」 (<http://www.1.u-tokyo.ac.jp/student.html>)



UTokyo Account (<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/dics/ja/account.html>)



ITC-LMS (<https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp/login>)



東京大学情報基盤センター 教育用計算機システム (ECCSクラウドメールなど)
(<https://www.ecc.u-tokyo.ac.jp/>)



7. 2020年度 文学部の行事および重要な手続き一覧

月	旬	行 事 等	事 務 手 続 等
4 月	上 旬	進入学舎ガイダンス 4/1 (10:30~1・2大)	進入学手續 4/1・2 学生証・更新(4年生)1日から 便覧等配付(4年生のみ) 前期分授業料免除申請手續(3年生) 日本学生支援機構等各種奨学生出願手續 履修登録(Sセメスター・通年科目) ※4月上旬~中旬(予定)
	中 旬	専修課程別ガイダンス 4/2 (各研究室)	
	下 旬	Sセメスター授業開始 4/3 創立記念日(休講)4/12	
5 月	上 旬		
	中 旬	学生定期健康診断(保健センター) 五月祭	
6 月	下 旬		授業料(前期分)納入期限
	上 旬		
	中 旬		
7 月	下 旬		
	上 旬	補講・試験期間	後期分授業料免除申請書類配布
8 月	中 旬	集中講義期間(7/27~31)	
	上 旬	夏季休業 8/1~9/24	
	下 旬		
9 月	上 旬		Sセメスター科目成績発表(予定)
	中 旬		後期分授業料免除申請手續(~10月中旬)
	下 旬	Aセメスター授業開始 9/25	履修登録(Aセメスター科目) ※9月下旬~10月上旬(予定)
10 月	上 旬		
	中 旬		
	下 旬		
11 月	上 旬	文学部就職ガイダンス	
	中 旬		卒業・留年見込届受付(卒業論文題目届・ 特別演習受験届・学科卒願を含む)
	下 旬		授業料(後期分)納入期限

月	旬	行 事 等	事 務 手 続 等
12月	上旬	冬季休業 12/28～1/4 事務部窓口休業 12/28～1/4	
	中旬		
	下旬		
1月	上旬	卒業論文提出日 1/6 (10:00～12:00, 13:00～15:30 三友館)	卒業・留年変更届(学科卒願)受付
	中旬	大学入学共通テスト 1/16・17 補講・試験期間	再入学・転専修課程 願書配付 研究生入学願書・研究生期間延長願配付
	下旬	集中講義期間(1/26～29)	転学部願書配付 転学部願書受付
2月	上旬		卒業延期願用紙配付 進路調査票入力
	中旬		次年度前期分授業料免除申請書類配布 次年度入学料免除願書配布 卒業延期願受付
	下旬		再入学・転専修課程 願書受付 研究生入学・研究生期間延長 願書受付
3月	上旬	東大前期日程入学試験 2/25・26	次年度入学料免除願書受付
	中旬	卒業生発表	A semester科目成績発表(予定) 次年度前期分授業料免除申請書類手続
	下旬	卒業式	

注意事項

- 履修科目については定められた期間内に学務システム(UTAS)により各自登録し、かつ登録結果を確認しておくこと。
- 卒業・留年見込届は、対象となる4年生全員が必ず提出すること。
- 進路調査票は、卒業見込みの者は必ずUTASから入力すること。
- 行事・事務手続等の日程は、変更される場合があるので、掲示には常に注意すること。

学士入学願書配布・受付及び入学試験の日程等については、教務系の掲示板または教務係窓口で確認すること。

人文社会系研究科修士課程願書配布・受付及び入学試験の日程等については、大学院系の掲示板または大学院係窓口で確認すること。

8. 2020 年度（令和 2 年度）認定科目一覧

※平成 27 年度以前進学者は、窓口にて別途配布する認定科目一覧を参照すること。

※各科目の認定区分については授業が開講された年度の便覧を確認すること。教員名・授業科目名が同一でも開講年度によって認定の可否が異なる場合がある。なお卒業要件は進学年度の便覧が適用されるので注意すること。

哲 学

哲学専修課程

平成 28 年度以降進入学

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
哲 学 概 論	011	哲学概論	4
西洋哲学史概説第 1 部	012	西洋哲学史概説第 1 部	4
西洋哲学史概説第 2 部	013	西洋哲学史概説第 2 部	4
哲 学 特 殊 講 義	014	哲学特殊講義 早川 正祐(04200042)「死生学特殊講義Ⅱ」 早川 正祐(04200043)「死生学特殊講義Ⅲ」 小松 美彦(04200051)「死生学演習Ⅰ」 村上 靖彦(04200077)「応用倫理特殊講義Ⅶ」 熊野 純彦(04200401)「倫理学概論Ⅰ」 古田 徹也(04200411)「西洋倫理思想史概説Ⅰ」 古田 徹也(04200412)「西洋倫理思想史概説Ⅱ」 宮村 悠介(04200444)「倫理学特殊講義Ⅳ」 渡辺 優(04200541)「宗教学宗教史学特殊講義Ⅰ」 王寺 賢太(04203246)「フランス語学フランス文学特殊講義Ⅵ」	12
哲 学 演 習	015	哲学演習	8
卒 業 論 文	019		12
本専修課程修了に必要な単位			44
文学部の科目			32
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

- ・西洋哲学史概説第 1 部は卒業までに S セメスターと A セメスターの授業の両方を必ず履修すること。

中国思想文化学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単位
中国思想文化学概論	021	中国思想文化学概論	8
中国思想文化史概説	022	中国思想文化史概説 大澤 顯浩(04205511)「漢文学」	
東 ア ジ ア 史	120	日本史学専修課程の科目全部 東洋史学専修課程の科目全部 韓国朝鮮文化特殊講義 韓国朝鮮文化演習	4
中国語中国文学	240	中国語中国文学専修課程の科目全部	4
中国思想文化学 特殊講義	023	中国思想文化学特殊講義 納富 信留/鈴木 泉(04200102)「哲学概論Ⅱ」 納富 信留(04200112)「西洋哲学史概説第1部Ⅱ」 高橋 晃一(04200301)「インド哲学概論」 加藤 隆宏(04200312)「インド哲学史概説Ⅱ」 下田 正弘(04200322)「仏教概論Ⅱ」 小川 隆(04200342)「インド哲学仏教学特殊講義Ⅱ」 頼住 光子(04200402)「倫理学概論Ⅱ」 古田 徹也(04200441)「倫理学特殊講義Ⅰ」 池澤 優(04200511)「宗教史概説Ⅰ」 藤原 聖子(04200512)「宗教史概説Ⅱ」 小田部 胤久(04200601)「美学概論」 菊地 達也(04200701)「イスラム学概論Ⅱ」 高岸輝/塚本磨充(04201561)「美術史学演習Ⅰ」 佐藤 実(04205303)「文化交流特殊講義Ⅲ」	8
中国思想文化学演習	024	中国思想文化学演習 小島 毅(04205311)「文化交流演習Ⅰ」	6
卒業論文	029		12
本専修課程修了に必要な単位			42
文学部の科目			34
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

本専修課程のカバーする研究領域は、きわめて広い。研究の時代については、上古（甲骨・金文）から現代にいたるどの時代を選択してもよいし、フィールドについても、中国の思想・哲学はもとより、その背景をなす社会（政治、経済、法律、道徳）や文化（言語、芸術、風俗、衣食住、女性史）、宗教（道教、仏教、民間宗教）、科学技術（天文学、医学、農学）など、いずれの選択も可能である。思想史と社会史ないし思想史と文化史の架橋を試みることも意味がある作業であろうし、中国と日本ないし中国と西洋の思想比較を行ってもよい。学生諸君の唯一の義務は、新鮮かつ個性的な研究テーマを選択し、必要な方法論を模索しつつ、各自の研究計画を作成し、研究を完成させることである。本専修課程の最も大きな特徴の一つは、研究の自由度の高さにあると自負している。

ただし、文献解読は研究の基礎であるから、語学的訓練（古典中国語と現代中国語）にはかなりの時間を費やしてほしい。特に教養学部での中国語以外の履修者には、相応の努力が望まれるところである。また他学部や他専修課程の講義を積極的に受講し、さまざまな分野の研究蓄積や方法論を摂取することもあわせて希望したい。

インド哲学仏教学専修課程

平成 28 年度以降進入学

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
インド哲学概論	031	インド哲学概論	8
インド哲学史概説	032	印度哲学史概説	
仏教概論	033	仏教概論	
比較仏教論	037	比較仏教論	
インド哲学仏教学 特殊講義	035	インド哲学仏教学特殊講義 堀江 宗正(04200044)「死生学特殊講義Ⅳ」 会田 薫子(04200041)「死生学特殊講義Ⅰ」 会田 薫子(04200046)「死生学特殊講義Ⅵ」 納富 信留/鈴木 泉(04200101)「哲学概論Ⅰ」 納富 信留/鈴木 泉(04200102)「哲学概論Ⅱ」 乗立 雄輝(04200142)「哲学特殊講義Ⅱ」 横手 裕(04200201)「中国思想文化学概論Ⅰ」 吉田 真樹(04200421)「東洋倫理思想史概説Ⅰ」 吉田 真樹(04200422)「東洋倫理思想史概説Ⅱ」 西村 明(04200502)「宗教学概論Ⅱ」 西村 明(04200513)「宗教史概説Ⅲ」 藤原 聖子(04200501)「宗教学概論Ⅰ」 藤原 聖子(04200512)「宗教史概説Ⅱ」 菊地 達也(04200701)「イスラム学概論Ⅱ」 村 和明/嶋島 遼(04201131)「古文書学特殊講義Ⅰ」 高橋 典幸(04201132)「古文書学特殊講義Ⅱ」 佐川 英治(04201241)「東洋史学特殊講義Ⅰ」 六反田 豊(04201244)「東洋史学特殊講義Ⅳ」 小林 正人(04202121)「比較言語学Ⅰ」 梶原三恵子(04202501)「印度語学概論Ⅰ」 梶原三恵子(04202502)「印度語学概論Ⅱ」 梶原三恵子(04202561)「印度語学印度文学演習Ⅰ」 梶原三恵子(04202562)「印度語学印度文学演習Ⅱ」 梶原三恵子(04202563)「印度語学印度文学演習Ⅲ」 梶原三恵子(04202564)「印度語学印度文学演習Ⅳ」 宮本 城(04202565)「印度語学印度文学演習Ⅴ」 宮本 城(04202566)「印度語学印度文学演習Ⅵ」	12

		下田正弘/永崎研宣/大向一輝(04205001)「人文情報学概論Ⅰ」 下田正弘/永崎研宣/大向一輝(04205002)「人文情報学概論Ⅱ」 小島 毅(04205311)「文化交流演習Ⅰ」 橋本 泰元(04205639)「ヒンディー語Ⅰ」 橋本 泰元(04205640)「ヒンディー語Ⅱ」 星 泉(04205654)「チベット語Ⅰ」 西沢 史仁(04205655)「チベット語Ⅱ」	
インド哲学仏教学演習	036	インド哲学仏教学演習	8
卒業論文	039		
特別演習	038	インド哲学文献	4
		インド宗教文献	4
		インド仏教論典	4
		インド仏教経典	4
		東アジア仏教文献	4
		日本仏教文献	4
		インド哲学史・仏教思想史文献	4
本専修課程修了に必要な単位			40
文学部の科目			36
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

印 哲

倫理学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
倫 理 学 概 論	041	倫理学概論	4
西洋倫理思想史概説	042	西洋倫理思想史概説	4
東洋倫理思想史概説	043	東洋倫理思想史概説	4
倫 理 学 特 殊 講 義	044	倫理学特殊講義 倫理学概論 西洋倫理思想史概説 東洋倫理思想史概説 納富 信留/鈴木 泉(04200101)「哲学概論Ⅰ」 納富 信留/鈴木 泉(04200102)「哲学概論Ⅱ」 納富 信留(04200111)「西洋哲学史概説第1部Ⅰ」 納富 信留(04200112)「西洋哲学史概説第1部Ⅱ」 鈴木 泉(04200121)「西洋哲学史概説第2部Ⅰ」 鈴木 泉(04200122)「西洋哲学史概説第2部Ⅱ」 乗立 雄輝(04200141)「哲学特殊講義Ⅰ」 乗立 雄輝(04200142)「哲学特殊講義Ⅱ」 岡本 賢吾(04200143)「哲学特殊講義Ⅲ」 古荘 真敬(04200144)「哲学特殊講義Ⅳ」 山根 雄一郎(04200145)「哲学特殊講義Ⅴ」 戸田山 和久(04200146)「哲学特殊講義Ⅵ」 横手 裕(04200201)「中国思想文化学概論Ⅰ」 内山 直樹(04200202)「中国思想文化学概論Ⅱ」 蓑輪 頭量(04200321)「仏教概論Ⅰ」 下田 正弘(04200322)「仏教概論Ⅱ」 蓑輪 頭量(04200331)「比較仏教論」 菊地 達也(04200701)「イスラム学概論Ⅱ」 池 澤 優(04200511)「宗教史概説Ⅰ」 藤原 聖子(04200512)「宗教史概説Ⅱ」 西村 明(04200513)「宗教史概説Ⅲ」 小田部 胤久(04200601)「美学概論」 三浦 俊彦(04200611)「芸術学概論」 鉄野昌弘/佐藤至子(04202301)「国文学概論」 渡辺康明/鉄野昌弘/佐藤至子(04202321)「日本	8

		文学史」 安藤 宏(04202341)「国文学特殊講義Ⅰ」 安藤 宏(04202342)「国文学特殊講義Ⅱ」 高木 和子(04202343)「国文学特殊講義Ⅲ」 高木 和子(04202344)「国文学特殊講義Ⅳ」 渡部 泰明(04202345)「国文学特殊講義Ⅵ」 佐藤 至子(04202346)「国文学特殊講義Ⅶ」 安藤 宏他(04202347)「国文学特殊講義Ⅷ」 佐藤 至子(04202348)「国文学特殊講義Ⅸ」 木下 華子(04202349)「国文学特殊講義Ⅹ」 木下 華子(04202350)「国文学特殊講義Ⅺ」 伊藤 聡(04205519)「日本の思想と宗教」 衣笠 正晃(04205520)「近代日本の文化と社会」	
倫理学演習	045	倫理学演習	8
卒業論文	049		12
本専修課程修了に必要な単位			40
文学部の科目			36
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

倫理

【学修上の注意】

- ・倫理学専修課程に所属する学生で、平成28年度以降に進学した者は、いずれかの学期において、倫理学概論Ⅰ、倫理学概論Ⅱ、西洋倫理思想史概説Ⅰ、西洋倫理思想史概説Ⅱ、東洋倫理思想史概説Ⅰ、東洋倫理思想史概説Ⅱのすべて、および倫理学特殊講義に認定された講義4コマ8単位以上を必ず履修しなければならない。
- ・倫理学専修課程に所属する学生で、平成28年度以降に進学した者は、3・4年次の4個セメスターのうち、少なくとも3個セメスターにわたって、合計4コマ8単位以上、いずれかの教員の倫理学演習を履修しなければならない。なお、上記の条件を満たす場合、2人以上の教員の演習を同時に履修すること、および、セメスターが変わる際に履修する演習を変えることは可とする。

宗教学宗教学史学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単位
宗 教 学 概 論	051	宗教学概論	8
宗 教 史 概 説	052	宗教史概説	
宗 教 学 宗教史学特殊講義	053	宗教学宗教学史学特殊講義 池澤 優(04200052)「死生学演習Ⅱ」 堀江 宗正(04200053)「死生学演習Ⅲ」 納富 信留/鈴木 泉(04200101)「哲学概論Ⅰ」 納富 信留/鈴木 泉(04200102)「哲学概論Ⅱ」 納富 信留(04200111)「西洋哲学史概説第1部Ⅰ」 納富 信留(04200112)「西洋哲学史概説第1部Ⅱ」 鈴木 泉(04200121)「西洋哲学史概説第2部Ⅰ」 鈴木 泉(04200122)「西洋哲学史概説第2部Ⅱ」 横手 裕(04200201)「中国思想文化学概論Ⅰ」 横手 裕/李 蘇書(04200243)「中国思想文化学特殊講義Ⅲ」 高橋 晃一(04200301)「インド哲学概論」 加藤 隆宏(04200311)「インド哲学史概説Ⅰ」 加藤 隆宏(04200312)「インド哲学史概説Ⅱ」 蓑輪 顕量(04200321)「仏教概論Ⅰ」 下田 正弘(04200322)「仏教概論Ⅱ」 蓑輪 顕量(04200331)「比較仏教論」 頼住 光子(04200402)「倫理学概論Ⅱ」 吉田 真樹(04200421)「東洋倫理思想史概説Ⅰ」 吉田 真樹(04200422)「東洋倫理思想史概説Ⅱ」 木村 純二(04200442)「倫理学特殊講義Ⅱ」 菊地 達也(04200701)「イスラム学概論Ⅱ」 苅谷 康太(04200711)「イスラム史概説」 池内 恵(04200741)「イスラム学特殊講義Ⅰ」 藤井 守男(04200743)「イスラム学特殊講義Ⅲ」 藤井 守男(04200744)「イスラム学特殊講義Ⅳ」	12
宗 教 学 演 習	054	宗教学演習	8
宗 教 史 学 演 習	055	宗教史学演習	
卒 業 論 文	059		12

225

本専修課程修了に必要な単位	40
文学部の科目	36
他学部科目（教育実習を含む）	
卒業に必要な単位	76

【学修上の注意】

本専修課程で扱う範囲は研究対象の面でも方法の面でもはなはだ多様である。そこで、なるべく早い時期に教員と相談のうえ、総合的判断にもとづいて各自の研究をすすめること。

原資料使用のため原語の習得を必要とする者はできるだけ3年生のときから始めること。

宗 教

美学芸術学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
美 学 概 論	061	美学概論 芸術学概論	4
美学芸術学特殊講義	062	美学芸術学特殊講義 美学史講義 美術史学特殊講義 西洋哲学史概説第 1 部 西洋哲学史概説第 2 部 倫理学概論 宗教学概論 乗立雄輝(04200141)「哲学特殊講義 I」 山根雄一郎(04200145)「哲学特殊講義 V」	12
美 学 芸 術 学 演 習	063	美学芸術学演習	8
文 献 講 読	530	原典講読	8
卒 業 論 文	069		12
本専修課程修了に必要な単位			44
文学部の科目			32
他学部の科目 (教育実習を含む)			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

原典講読の履修について

原典講読は、3, 4 年次の 4 個セメスターにわたって履修することが望ましい。

イスラム学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
イスラム学概論	071	イスラム学概論	4
イスラム史概説	072	イスラム史概説	2
イスラム学特殊講義	073	イスラム学特殊講義 納富 信留(04200111)「西洋哲学史概説第1部Ⅰ」 横手 裕(04200201)「中国思想文化学概論Ⅰ」 蓑輪 顕量(04200331)「比較仏教論」 熊野 純彦(04200401)「倫理学概論Ⅰ」 古田 徹也(04200411)「西洋倫理思想史概説Ⅰ」 藤原 聖子(04200501)「宗教学概論Ⅰ」 渡辺 優(04200541)「宗教学宗教史学特殊講義Ⅰ」 勝沼 聡(04200547)「宗教学宗教史学特殊講義Ⅶ」 堀江 聡(04200644)「美学芸術学特殊講義Ⅳ」 守川 知子(04201242)「東洋史学特殊講義Ⅱ」 長谷部文彦(04201248)「東洋史学特殊講義Ⅷ」 高山 博(04201341)「西洋史学特殊講義Ⅰ」 西秋 良宏(04201451)「考古学特殊講義Ⅺ」 西秋 良宏(04201452)「考古学特殊講義Ⅻ」 榊屋 友子(04201547)「美術史学特殊講義Ⅶ」 榊屋 友子(04201548)「美術史学特殊講義Ⅷ」 永井 正勝(04202150)「言語学特殊講義Ⅹ」 葛西 康徳(04203941)「西洋古典学特殊講義Ⅰ」 佐藤 実(04205303)「文化交流特殊講義Ⅲ」	10
イスラム学演習	074	イスラム学演習	6
アラビア語学	075	アラビア語 菊地 達也(04200761)「イスラム学演習Ⅰ」 菊地 達也(04200762)「イスラム学演習Ⅱ」 榮谷 温子(04205644)「アラビア語Ⅰ」 榮谷 温子(04205645)「アラビア語Ⅱ」	4
卒業論文	079		12
本専修課程修了に必要な単位			38
文学部の科目			38

美 学

イ 学

他学部科目 (教育実習を含む)	
卒業に必要な単位	76

【学修上の注意】

イスラム学とは、イスラム教の文化・思想・宗教・文学を、主として文献によって実証的に研究する学問である。本専修課程は、そのためのアラビア語学をはじめとする基本的な修練を得させ、イスラム文明の正しい理解に資する人材や研究者を養成することを目的とする。一口に「イスラム学」とはいえ、その具体的内容は広くかつ深い。それだけに研究の方法も多岐にわたり、一定かつ共通のものがあるわけではない。したがって、例えば、思想史的、文献学的研究のみならず、哲学、宗教学、倫理学、美学、比較思想などの立場からイスラム教を研究することもできるし、また法学の立場からイスラム法を研究することもできよう。ただその際、総体としてのイスラム文化（文明）の本質を明らかにし、理解するということが共通の関心でなければならない。いずれにしても、研究のテーマに見合う方法の選択が要求されるし、その点を十分考慮して他専修課程の講義をも積極的に聴講することが望ましい。とはいえ、最初から自らを狭く限定するのではなく、学部ではイスラム教のさまざまな分野についての広い知識と理解力を習得するよう心掛けることが大切である。

日本史学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

日本史

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
史 学 概 論	100	史学概論	2
日 本 史 学 特 殊 講 義	111	日本史学特殊講義 古文書学特殊講義 宮瀧 交二(04205515)「博物館資料論(歴史資料)」	12
東 洋 史 学 特 殊 講 義	123	東洋史学特殊講義	4
西 洋 史 学 特 殊 講 義	131	西洋史学特殊講義	4
日 本 史 学 演 習	112	日本史学演習	8
卒 業 論 文	119		12
本専修課程修了に必要な単位			42
文学部の科目			34
他学部科目(教育実習を含む)			
卒業に必要な単位			76

イ 学

東洋史学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
史 学 概 論	100	史学概論	2
東 洋 史 学 研 究 入 門	125	東洋史学研究入門	2
東 洋 史 学 特 殊 講 義	123	東洋史学特殊講義 横手 裕(04200201)「中国思想文化学概論Ⅰ」 内山 直樹(04200202)「中国思想文化学概論Ⅱ」 陳 捷(04200211)「中国思想文化史概説Ⅰ」 下田 正弘(04200364)「インド哲学Ⅱ教学演習Ⅳ」 苅谷 康太(04200711)「イスラム史概説」 池内 恵(04200741)「イスラム学特殊講義Ⅰ」 長岡 慎介(04200742)「イスラム学特殊講義Ⅱ」 西秋 良宏(04201451)「考古学特殊講義Ⅺ」 梶原 三恵子(04202501)「印度語学概論Ⅰ」 宮本 城(04202565)「印度語学印度文学演習Ⅴ」 林 雄介(04205247)「韓国朝鮮文化特殊講義Ⅶ」 佐藤 実(04205303)「文化交流特殊講義Ⅲ」	16
日 本 史 学 特 殊 講 義	111	日本史学特殊講義	4
西 洋 史 学 特 殊 講 義	131	西洋史学特殊講義	4
東 洋 史 学 演 習	124	東洋史学演習	8
卒 業 論 文	129		12
本専修課程修了に必要な単位			48
文学部の科目			28
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

西洋史学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
史 学 概 論	100	史学概論	2
西 洋 史 学 研 究 入 門	133	西洋史学研究入門	2
西 洋 史 学 特 殊 講 義	131	西洋史学特殊講義	16
日 本 史 学 特 殊 講 義	111	日本史学特殊講義	4
東 洋 史 学 特 殊 講 義	123	東洋史学特殊講義	4
西 洋 史 学 演 習	132	西洋史学演習	8
卒 業 論 文	139		12
本専修課程修了に必要な単位			48
文学部の科目			28
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

東洋史

西洋史

【学修上の注意】

- 1) 「史学概論」および「西洋史学研究入門」は、駒場キャンパスで開講される。教養学部2年次A Semesterに履修することが望ましいが、当該学期にこれらの単位を取得しなかった者は、進学後に履修しなければならない。
- 2) 「西洋史学演習」の受講（一部を除く）、そして「卒業論文」の作成には、英語を含む外国語で記された原書を繙く必要がある。必要な言語はできるだけ早い段階で習熟することが望ましい。
- 3) 西洋史学を中心に関連諸分野のさまざまな授業を聴講して、幅広い知識を身につけ、多様な方法論、分析の視座に触れ、理解力、思考力の形成に努めることが望ましい。
- 4) 「卒業論文」については3年生向け、4年生以上向けにそれぞれ卒論ガイダンスが行われる（5月頃を予定）。テーマは教員と相談の上で設定し、十分な指導を受けて取り組むこと。

考古学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
史 学 概 論	100	史学概論	2
考 古 学 概 論	141	考古学概論	4
考 古 学 特 殊 講 義	144	考古学特殊講義 須山 聡(04205504)「地理学Ⅰ」 須山 聡(04205505)「地理学Ⅱ」 遠藤 元(04205513)「地誌」	16
考 古 学 演 習	145	考古学演習	6
野 外 考 古 学	146	野外考古学	4
卒 業 論 文	149		12
本専修課程修了に必要な単位			44
文学部の科目			32
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

1. 教養学部 2 年次 A セメスターに「史学概論」の単位を取っておかなかった者は、進学してから教養学部へ行って取らなければならない。
2. 「野外考古学」の第 1 部と第 2 部は、卒論で忙しい 4 年次に回さず、3 年次に取っておくこと。

美術史学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
史 学 概 論	100	史学概論	2
哲 学 概 論	011	哲学概論	4
美 学 芸 術 学	060	美学芸術学専修課程の科目全部	
美術史学特殊講義	151	美術史学特殊講義 芳賀 京子(04205301)「文化交流特殊講義Ⅰ」 芳賀 京子(04205302)「文化交流特殊講義Ⅱ」 古田 亮(04205304)「文化交流特殊講義Ⅳ」 奈良澤 由美(04205305)「文化交流特殊講義Ⅴ」	16
美術史調査方法論	153	本年度は該当科目なし	
日本史学特殊講義	111	日本史学特殊講義 古文書学特殊講義 鶴田 啓(04205145)「文化資源学特殊講義Ⅷ」 高橋 敏子(04195146)「文化資源学特殊講義Ⅸ」	4
東洋史学特殊講義	123	東洋史学特殊講義	
西洋史学特殊講義	131	西洋史学特殊講義	
考古学特殊講義	144	考古学特殊講義	
美術史学演習	152	美術史学演習 芳賀 京子(04205312)「文化交流演習Ⅱ」 芳賀 京子(04205313)「文化交流演習Ⅲ」	8
卒業論文	159		12
本専修課程修了に必要な単位			46
文学部の科目			30
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

考古

美術史

言語学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
言 語 学 概 論	211	言語学概論	4
言 語 学 特 殊 講 義	212	言語学特殊講義 井島 正博(04202201)「国語学概論Ⅰ」 肥爪 周二(04202202)「国語学概論Ⅱ」 渡辺 明(04203001)「英語学概論Ⅰ」 渡辺 明(04203002)「英語学概論Ⅱ」 三谷 恵子(04203301)「スラヴ語学概論」 榎 梨/小林 穂(04205656)「日本手話Ⅰ」 榎 梨/小林 穂(04205657)「日本手話Ⅱ」	12
言 語 学 演 習	213	言語学演習	8
音 声 学	214	音声学	2
比 較 言 語 学	215	比較言語学	2
卒 業 論 文	219		
特 別 演 習	218	文献精読、調査、又はデータ分析等、教員の指定する課題の中から3つを選んで行うこと。ただし、1課題につき4単位とする。	12
本専修課程修了に必要な単位			40
文学部の科目			36
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

日本語日本文学（国語学）専修課程

平成 28 年度以降進入学

言語

国語

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
国 語 学 概 論	221	国語学概論	4
言 語 学 概 論	211	言語学概論	4
国 語 学 特 殊 講 義	222	国語学特殊講義	10
国 文 学 特 殊 講 義	232	国文学特殊講義	2
国 語 学 演 習	223	国語学演習	12
卒 業 論 文	229		12
特 別 演 習	228	研究文献精読，又は調査等，教員の指定する課題の中から2つを選んで行うこと。ただし，1課題につき6単位とする。	
本専修課程修了に必要な単位			44
文学部の科目			32
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

1. 「国語学概論」は，毎年 S1+S2 ターム，A1+A2 タームに，それぞれ2単位分ずつ開講される。
2. 卒業論文作成に関しては，「卒業論文指導」のほか，3年次の12月又は1月に卒業論文スケジュール説明会，4年次の5月に卒業論文題目発表会，7月に卒業論文研究計画発表会，10月に卒業論文中間発表会が設定されている。

日本語日本文学（国文学）専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
国 文 学 概 論	231	国文学概論	2
日 本 書 誌 学 概 論	234	日本書誌学概論	2
国 語 学 概 論	221	国語学概論	2
国 文 学 特 殊 講 義	232	国文学特殊講義 日本文学史 国語学特殊講義 国語学演習 衣笠 正晃(04205520)「近代日本の文化と社会」	12
国 文 学 演 習	233	国文学演習	12
卒 業 論 文	239		12
本専修課程修了に必要な単位			42
文学部の科目			34
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

国文学専修課程の講義は、古典文学（上代・中古・中世・近世）と近代文学（明治以降現代まで）との二大分野に大別される。一般社会は本課程卒業者に対して、国文学全般にわたる広くかつ正確な知識・教養を要求することが多いので、とくに自身の専攻テーマが確定していない段階では、一方に偏ることなく、広く聴講履修することが望ましい。また、専門分野を講ずる非常勤講師の特殊講義に接する機会はかならずしも多くはないから、この機会に積極的に履修することを希望する。国語学は国文学と最も深い関係にある隣接学なので、国語学の講義もかならず履修してほしい。その他、自身の研究テーマとの関連を考えて、現代文芸論、各外国文学、美学芸術学、日本史学、美術史学、倫理学、インド哲学仏教学などの専修課程の講義をも積極的に聴講して、さまざまな研究方法を学ぶことを期待する。卒業論文には十分な時間をかけて、二年間の学問研究の決算として自身納得のゆくものを提出してほしい。

中国語中国文学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位	
中国語学概論	241	中国語学概論	8	
中国文学史概説	242	齋藤 希史(04202442)「中国語学中国文学特殊講義Ⅱ」 齋藤 希史(04202464)「中国語学中国文学演習Ⅳ」 鈴木 将久(04202465)「中国語学中国文学演習Ⅴ」 大木 康(04202444)「中国語学中国文学特殊講義Ⅳ」		
中国思想文化学	020	中国思想文化学	4	
中国語学 中国文学特殊講義	243	中国語学中国文学特殊講義	8	
中国語学中国文学演習	244	中国語学中国文学演習 中国言語文化論	12	
卒業論文	249		12	
特別演習	248	趙元任「語言問題」		4
		「唐詩三百首」		4
		「魯迅全集」第2巻（彷徨，野草，朝花夕拾，故事新編）	4	
本専修課程修了に必要な単位			44	
文学部の科目			32	
他学部の科目（教育実習を含む）				
卒業に必要な単位			76	

国 文

中 文

【学修上の注意】

講義及び演習は、大別すれば中国語学・中国古典文学・中国近現代文学の三つに分けられる。一つの分野にのみかたよることなく、広く聴講することが望ましい。同様に中国思想文化学・東洋史学など、関連する専修課程の講義も、広く聴講してほしい。

インド語インド文学専修課程

平成 28 年度以降進入学

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
印 度 語 学 概 論	251	印度語学概論 下田 正弘(04200364)「インド哲学仏教学演習Ⅳ」 下田 正弘(04200368)「インド哲学仏教学演習Ⅷ」 水野 善文(04202541)「印度語学印度文学特殊講義Ⅰ」 宮本 城(04202565)「印度語学印度文学演習Ⅴ」 宮本 城(04202566)「印度語学印度文学演習Ⅵ」 橋本 泰元(04205639)「ヒンディー語Ⅰ」 橋本 泰元(04205640)「ヒンディー語Ⅱ」	6
印 度 文 学 史 概 説	253	印度文学史概説 高橋 晃一(04200301)「インド哲学概論」 加藤 隆宏(04200311)「インド哲学史概説Ⅰ」 加藤 隆宏(04200312)「インド哲学史概説Ⅱ」 蓑輪 顕量(04200321)「仏教概論Ⅰ」 下田 正弘(04200322)「仏教概論Ⅱ」 蓑輪 顕量(04200331)「比較仏教論」	6
印 度 語 学 印 度 文 学 特 殊 講 義	252	印度語学印度文学特殊講義 納富 信留(04200111)「西洋哲学史概説第Ⅰ部Ⅰ」 納富 信留(04200112)「西洋哲学史概説第Ⅰ部Ⅱ」 馬場 紀寿(04200345)「インド哲学仏教学特殊講義Ⅴ」 加藤 隆宏(04200361)「インド哲学仏教学演習Ⅰ」 高橋 晃一(04200362)「インド哲学仏教学演習Ⅱ」 下田 正弘(04200364)「インド哲学仏教学演習Ⅳ」 加藤 隆宏(04200365)「インド哲学仏教学演習Ⅴ」 高橋 晃一(04200366)「インド哲学仏教学演習Ⅵ」 下田 正弘(04200368)「インド哲学仏教学演習Ⅷ」 池澤 優(04200511)「宗教史概説Ⅰ」 藤原 聖子(04200512)「宗教史概説Ⅱ」 島田 竜登(04201265)「東洋史学演習Ⅴ」 島田 竜登(04201266)「東洋史学演習Ⅵ」 橋場 弦(04201343)「西洋史学特殊講義Ⅲ」 澤田 典子(04201351)「西洋史学特殊講義ⅩⅢ」 橋場 弦(04201363)「西洋史学演習Ⅲ」 橋場 弦(04201364)「西洋史学演習Ⅳ」 小林 正人(04202121)「比較言語学Ⅰ」	10

		小林 正人(04202122)「比較言語学Ⅱ」 小林 正人(04202163)「言語学演習Ⅲ」 小林 正人(04202164)「言語学演習Ⅳ」 渡部 良子(04205646)「ペルシア語Ⅰ」 渡部 良子(04205647)「ペルシア語Ⅱ」 野津 寛(04205648)「ギリシャ語Ⅰ」 野津 寛(04205649)「ギリシャ語Ⅱ」 吉川 斉(04205650)「ラテン語初級Ⅰ」 吉川 斉(04205651)「ラテン語初級Ⅱ」 吉川 斉(04205652)「ラテン語中級Ⅰ」 吉川 斉(04205653)「ラテン語中級Ⅱ」 西沢 史仁(04205655)「チベット語Ⅱ」 西洋古典学専修課程の科目全部	
印度語学印度文学演習	255	印度語学印度文学演習	6
卒業論文	259		12
特別演習	258	原典テキスト，研究書（原則として英・独・仏語のいずれか）など，教員の指定する文献の中から3つを選んで学習すること。なお，各々の文献学習につき4単位とする。	
本専修課程修了に必要な単位			40
文学部の科目			36
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

印 文

英語英米文学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
英 語 学 概 論	301	英語学概論	4
英 文 学 史 概 説	302	英文学史概説	4
米 文 学 史 概 説	303	米文学史概説	4
英 語 学 英 米 文 学 特 殊 講 義	304	英語学英米文学特殊講義 英語圏言語文化特殊講義 耐 巖/小林 正人(04202101)「言語学概論Ⅰ」 梅谷 博之/長屋 尚典 耐 巖/小林 正人(04202102)「言語学概論Ⅱ」 梅谷 博之/長屋 尚典 梅谷 博之(04202111)「音声学Ⅰ」 梅谷 博之(04202112)「音声学Ⅱ」 小林 正人(04202121)「比較言語学Ⅰ」 井島 正博(04202201)「国語学概論Ⅰ」	8
英語学英米文学演習	305	英語学英米文学演習	16
卒 業 論 文	309		12
本専修課程修了に必要な単位			48
文学部の科目			28
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

本専修課程の学生には、演習・講義に積極的に参加し、基礎力を養成することを希望する。演習・講義は大別すれば、英文学・米文学・英語学の3つに分かれる。卒業論文で専門としようとする分野の演習は、3年次にひとつは履修しておくこと。また、必修科目に加えて、卒業論文の執筆に備えて、英語での論文の書き方、プレゼンテーションの仕方などを十分に学ぶため、次の科目を履修することが原則的に求められている。

Stephen Clark 先生：Introduction to Narrative Theory 16, 英語表現法Ⅰ, 英語表現法Ⅱ（3年次に履修すること）

ドイツ語ドイツ文学専修課程

平成 28 年度以降進入学

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
ドイツ語学概論	311	ドイツ語学概論	4
ドイツ文学史概説	312	ドイツ文学史概説	4
ドイツ語学ドイツ文学特殊講義	313	ドイツ語学ドイツ文学特殊講義 ドイツ語圏言語文化	12
ドイツ語学ドイツ文学演習	314	ドイツ語学ドイツ文学演習	16
卒業論文	319		12
本専修課程修了に必要な単位			48
文学部の科目			28
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

英 文

独 文

【学修上の注意】

各科目の内容に関する説明は研究室ガイダンスの際に行うので、特に3年生は必ず出席すること。

次の科目は必ず履修することが望ましい。

- 1) ドイツ文学研究入門（教養学部2年次A Semesterにおいて。）
- 2) KEPLER-TASAKI 准教授のドイツ語学ドイツ文学特殊講義および演習（第3年次および第4年次において）
本専修課程の学生にとっては、ドイツ語の読解力を身につけることが何よりも肝要であるが、同時に、各自の興味に応じて他専修課程の授業にも出席し、その視野をひろめることが望ましい。

フランス語フランス文学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
フランス語学概論	321	フランス語学概論 Marianne Simon-Oikawa (04203267) 「フランス語学フランス文学演習 VII」 Marianne Simon-Oikawa (04203268) 「フランス語学フランス文学演習 VIII」	4
フランス文学史概説	322	フランス文学史概説 Marianne Simon-Oikawa (04203241) 「フランス語学フランス文学特殊講義 I」 塚本 昌則 (04203244) 「フランス語学フランス文学特殊講義 IV」 塩塚 秀一郎 (04203245) 「フランス語学フランス文学特殊講義 V」	4
フランス語学 フランス文学特殊講義	323	フランス語学フランス文学特殊講義 フランス語圏言語文化 野津 寛 (04205648) 「ギリシャ語 I」 野津 寛 (04205649) 「ギリシャ語 II」 吉田俊一郎 (04205650) 「ラテン語初級 I」 吉田俊一郎 (04205651) 「ラテン語初級 II」 吉田俊一郎 (04205652) 「ラテン語中級 I」 吉田俊一郎 (04205653) 「ラテン語中級 II」	12
フランス語学 フランス文学演習	324	フランス語学フランス文学演習	16
卒業論文	329		12
本専修課程修了に必要な単位			48
文学部の科目			28
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

本専修課程の学生には、講義・演習を土台にして、自発的・自立的に学ぶことを希望する。自立的探究には、自立するだけの基本的な力が必要である。とくに語学に関しては、講義・演習を活用して自ら学習に励み、フランス語の読解力と基本的な運用能力（作文・会話）を第3年次において身につけておくこと。そのためには、フランス人教師の授業を第3年次に2つ以上履修することが望ましい。その上で、第4年次には、テキスト読解を通じて分析的思考と幅広い理解力とを修得し、自己の探究の成果を卒業論文において十分に示してもらいたい。

各科目の内容に関する説明はガイダンスの際に行う。4年生も出席すること。

4年生のための卒業論文説明会は例年6月に行う。

スラヴ語スラヴ文学専修課程

平成 28 年度以降進入学

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
スラヴ語学概論	331	スラヴ語学概論 阿部 賢一(04203342)「スラヴ語学スラヴ文学特殊講義Ⅱ」 Martchev Milen(04203346)「スラヴ語学スラヴ文学特殊講義Ⅵ」 三谷 恵子/越野 剛(04203348)「スラヴ語学スラヴ文学特殊講義Ⅶ」 小椋 彩(04203350)「スラヴ語学スラヴ文学特殊講義Ⅹ」	4
スラヴ文学史概説	332	スラヴ文学史概説 楯岡求美/阿部賢一/越野剛 (04203344)「スラヴ語学スラヴ文学特殊講義Ⅳ」 楯岡 求美/越野 剛(04203349)「スラヴ語学スラヴ文学特殊講義Ⅷ」	4
スラヴ語学 スラヴ文学特殊講義	333	スラヴ語学スラヴ文学特殊講義 スラヴ語圏言語文化 池田 嘉郎(04201346)「西洋史学特殊講義Ⅷ」 池田 嘉郎(04201347)「西洋史学特殊講義Ⅸ」 西村 義樹/小林 正人(04202101)「言語学概論Ⅰ」 梅谷 博之/長屋 尚典 西村 義樹/小林 正人(04202102)「言語学概論Ⅱ」 梅谷 博之/長屋 尚典 小林 正人(04202121)「比較言語学Ⅰ」 小林 正人(04202122)「比較言語学Ⅱ」 阿部 賢一(04203811)「現代文芸論概説Ⅰ」 阿部 賢一(04203844)「近代文学特殊講義Ⅳ」 阿部 賢一(04203845)「近代文学特殊講義Ⅴ」	16
スラヴ語学 スラヴ文学演習	334	スラヴ語学スラヴ文学演習	12
卒業論文	339		12
本専修課程修了に必要な単位			48
文学部の科目			28
他学部の科目(教育実習を含む)			
卒業に必要な単位			76

仏文

スラヴ

【学修上の注意】

ロシア語およびスラヴ圏諸語を積極的に学んでほしい。余裕があれば、スラヴ語以外の西欧諸語にも関心を持ってもらいたい。また、できるだけ多くの書物に触れ、積極的に目と耳から知識を取り入れて、広い視野でものごとを捉える力を養うことが必要である。

南欧語南欧文学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
イタリア語学概論	341	イタリア語学概論 浦 一章(04203421)「南欧語圏言語文化特殊講義」	8
イタリア文学史概説	342	イタリア文学史概説	
イタリア語学 イタリア文学特殊講義	343	イタリア語学イタリア文学特殊講義 浦 一章(04203421)「南欧語圏言語文化特殊講義」 青砥 清一(04205635)「スペイン語中級Ⅰ」 青砥 清一(04205636)「スペイン語中級Ⅱ」 黒澤 直俊(04205637)「ポルトガル語Ⅰ」 黒澤 直俊(04205638)「ポルトガル語Ⅱ」 吉田俊一郎(04205650)「ラテン語初級Ⅰ」 吉田俊一郎(04205651)「ラテン語初級Ⅱ」 吉田俊一郎(04205652)「ラテン語中級Ⅰ」 吉田俊一郎(04205653)「ラテン語中級Ⅱ」	8
イタリア語学 イタリア文学演習	344	イタリア語学イタリア文学演習 南欧語圏言語文化演習	16
卒業論文	349		12
本専修課程修了に必要な単位			44
文学部の科目			32
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

スラヴ

南 欧

【学修上の注意】

本専修課程を修了するためには、イタリア語の知識が必須である。

文学の専攻を志すと、語学の専攻を望むとにかかわらず、何よりもまず、現代イタリア語の読解、作文、会話の十分かつ平均のとれた実力を身につけることを要望する。なぜなら、しっかりした現代語の知識という土台なしには、いかなる研究も砂上の楼閣に過ぎないからである。したがって語学関係の特殊講義による語学の集中的トレーニングには、十分力を注いで貰いたい。

イタリア、イベリアを含む南欧文化は近代西欧で最も長い歴史を持ち、最も豊かな花を開いた文化の一つである。文学・言語に限らず、南欧の歴史、美術、思想、社会などにも積極的な関心を持ってほしい。

現代文芸論専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
現代文芸論概説	381	現代文芸論概説 納富 信留/鈴木 泉(04200101)「哲学概論Ⅰ」 古田 徹也(04200412)「西洋倫理思想史概説Ⅱ」 藤原 聖子(04200501)「宗教学概論Ⅰ」 小田部胤久(04200601)「美学概論」 野村 悠里(04205022)「文化資源学入門Ⅱ」	4
比較文学概論	382	比較文学概論 阿部 公彦(04203011)「英文学史概説Ⅰ」 阿部 公彦(04203012)「英文学史概説Ⅱ」 諏訪部 浩一(04203021)「米文学史概説Ⅰ」 山本 潤(04203111)「ドイツ文学史概説Ⅰ」 塩塚 秀一郎(04203211)「フランス文学史概説」 楯岡 求美(04203311)「スラヴ文学史概説」 浦 一章(04203411)「イタリア文学史概説Ⅰ」	4
近代語学特殊講義	383	近代語学特殊講義 木村 建哉(04200622)「原典講読Ⅱ」 井島 正博(04202201)「国語学概論Ⅰ」 渡辺 明(04203001)「英語学概論Ⅰ」 田中 慎(04203101)「ドイツ語学概論Ⅰ」 杉山 利恵子(04203202)「フランス語学概論Ⅱ」 三谷 恵子(04203301)「スラヴ語学概論」 阿部 賢一(04203342)「スラヴ語学スラヴ文学特殊講義Ⅱ」 榎 毅/小林 信恵(04205656)「日本手話Ⅰ」	4
近代文学特殊講義	384	近代文学特殊講義 David Peace(04200023)「多分野講義Ⅲ」 新井 潤美(04203044)「英語学英米文学特殊講義Ⅳ」 山本 潤(04203121)「ドイツ語圏言語文化」 王寺 賢太(04203221)「フランス語圏文化」 塚本 昌則(04203243)「フランス語学フランス文学特殊講義Ⅲ」 楯岡求美/越野 剛(04203349)「スラヴ語学スラヴ文学特殊講義Ⅳ」 浦 一章/長野 徹(04203442)「イタリア語学イタリア文学特殊講義Ⅱ」 下田正弘/永崎研宣/大向一輝(04205001)「人文情報学概論Ⅰ」 古田 亮(04205304)「文化交流特殊講義Ⅳ」	8

現代文芸論演習	385	現代文芸論演習 阿部 公彦(04203065)「英語学英米文学演習Ⅴ」 大宮 勘一郎(04203167)「ドイツ語学ドイツ文学演習Ⅶ」 塚本 昌則(04203261)「フランス語学フランス文学演習Ⅰ」 Lorenzo Amato(04203463)「イタリア語学イタリア文学演習Ⅲ」	8
近代語学近代文学演習	386	近代語学近代文学演習 諏訪部 浩一(04203066)「英語学英米文学演習Ⅵ」 宮田 眞治(04203161)「ドイツ語学ドイツ文学演習Ⅰ」 王寺 賢太(04203265)「フランス語学フランス文学演習Ⅴ」 三谷 恵子(04203361)「スラヴ語学スラヴ文学演習Ⅰ」 楯岡 求美(04203364)「スラヴ語学スラヴ文学演習Ⅳ」 竹内 恵子(04205625)「ロシア語初級Ⅰ」 倉重 克明(04205629)「イタリア語初級Ⅰ」 青砥 清一(04205633)「スペイン語初級Ⅰ」 黒澤 直俊(04205637)「ポルトガル語Ⅰ」 野津 寛(04205648)「ギリシャ語Ⅰ」 吉田俊一郎(04205650)「ラテン語初級Ⅰ」	4
卒業論文	389		12
本専修課程修了に必要な単位			44
文学部の科目			32
他学部の科目(教育実習を含む)			
卒業に必要な単位			76

現文

【学修上の注意】

現代文芸論は、西洋近代語近代文学専修課程を改組し、その基本精神を受け継いで、平成19年4月に新たに発足した専修課程である。

現代文芸論では、一国一言語別の「縦割り」を越え、西洋近代を中心にしながら日本文学も世界文学の一部として視野に入れ、複数の言語や地域にまたがって世界の文学を現代的な観点から研究する。

したがって、この専修課程で扱える具体的な、研究対象(作家、言語、地域など)は、極めて多様であり、授業履修に際しても、他専修課程の授業の多くが「認定科目」として認められている。授業やテーマ選択の幅が広い点ではとても自由だが、その反面、広い選択の幅の中で自分なりの研究の道筋を作っていくかねばならないだけに、しっかりとした自律性が求められることも覚悟してほしい。

履修に際しては、以下の点に留意すること。

- ① 2つ以上の外国語(既修外国語を含む)を学習し、3か国以上の分野を視野に入れて研究すること。
- ② 教養課程在学中に第2・第3外国語としてロシア・イタリア・スペイン・ポルトガル・ギリシャ・ラテン語を履修した者が文学部で一般科目の同じ外国語を履修しても、「近代語学近代文学演習」の単位としては認定されない。

西洋古典学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
西洋古典古代史	391	橋場 弦(04201343)「西洋史学特殊講義Ⅲ」 澤田 典子(04201351)「西洋史学特殊講義ⅩⅢ」 橋場 弦(04201363)「西洋史学演習Ⅲ」 橋場 弦(04201364)「西洋史学演習Ⅳ」	4
西洋哲学史概説第1部	012	納富 信留(04200111)「西洋哲学史概説第1部Ⅰ」 納富 信留(04200112)「西洋哲学史概説第1部Ⅱ」 納富 信留(04200163)「哲学演習Ⅲ」 納富 信留(04200164)「哲学演習Ⅳ」	4
西洋古典学特殊講義	392	西洋古典学特殊講義 納富 信留(04200111)「西洋哲学史概説第1部Ⅰ」 納富 信留(04200112)「西洋哲学史概説第1部Ⅱ」 納富 信留(04200163)「哲学演習Ⅲ」 納富 信留(04200164)「哲学演習Ⅳ」 堀江 聡(04200644)「美学芸術学特殊講義Ⅳ」 津上 英輔(04200651)「美学史講義」 高山 博(04201341)「西洋史学特殊講義Ⅰ」 高山 博(04201342)「西洋史学特殊講義Ⅱ」 橋場 弦(04191343)「西洋史学特殊講義Ⅲ」 澤田 典子(04201351)「西洋史学特殊講義ⅩⅢ」 橋場 弦(04191363)「西洋史学演習Ⅲ」 橋場 弦(04191364)「西洋史学演習Ⅳ」 小林 正人(04202121)「比較言語学Ⅰ」 小林 正人(04202122)「比較言語学Ⅱ」 小林 正人(04202163)「言語学演習Ⅲ」 小林 正人(04202164)「言語学演習Ⅳ」 梶原 三恵子(04202501)「印度語学概論Ⅰ」 梶原 三恵子(04202502)「印度語学概論Ⅱ」 横山 安由美(04203247)「フランス語学フランス文学特殊講義Ⅶ」 浦 一章(04203421)「南欧語圏言語文化特殊講義」 浦 一章(04203461)「イタリア語学イタリア文学演習Ⅰ」 浦 一章(04203471)「南欧語圏言語文化演習Ⅰ」 芳賀 京子(04205301)「文化交流特殊講義Ⅰ」 芳賀 京子(04205302)「文化交流特殊講義Ⅱ」 芳賀 京子(04205312)「文化交流演習Ⅱ」	16

		芳賀 京子(04205313)「文化交流演習Ⅲ」	
西洋古典学演習	393	西洋古典学演習	8
卒業論文	399		12
本専修課程修了に必要な単位			44
文学部の科目			32
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

講義や演習で扱う作品や文献はギリシャ語ラテン語のものであるが、参考資料等は西欧諸言語で著されたものが多いので、なるべく英独仏伊語の語学文学にも広く興味をもち、習熟されることを望みたい。とくに大学院に進む人にはそれをすすめたい。また、思想史、歴史、考古学、言語学など、関連する諸分野との交渉も広く深いので、各人ひろやかな展望のもとに古代文学への接近につとめることが大切である。

心理学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
心 理 学 概 論	411	心理学概論Ⅰ、Ⅱ	4
心 理 学 特 殊 講 義	412	心理学特殊講義 心理学研究法 心理学統計Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ 白岩 祐子 (04204201) 「社会心理学概論Ⅰ」 亀田 達也 (04204202) 「社会心理学概論Ⅱ」 渡邊 久哲 (04204242) 「社会心理学特殊講義Ⅱ」 山口 裕幸 (04204243) 「社会心理学特殊講義Ⅲ」 尾崎 由佳 (04204244) 「社会心理学特殊講義Ⅳ」 犬飼 佳吾 (04204245) 「社会心理学特殊講義Ⅴ」 西川 賀樹 (04205501) 「情報メディア論Ⅰ」 西川 賀樹 (04205502) 「情報メディア論Ⅱ」 中村健太郎 (04205506) 「電算機応用Ⅰ」 寺尾 敦 (04205507) 「電算機応用Ⅱ」 荒木 剛 (04205509) 「精神医学」	8
心 理 学 演 習	413	心理学演習	6
心 理 学 実 験 演 習	414	心理学実験演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ	12
卒 業 論 文	419		12
本専修課程修了に必要な単位			42
文学部の科目			34
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

1. 「心理学実験演習Ⅰ」（必修）、「心理学概論Ⅰ」（必修）は前期課程 2 年次 A セメスターに履修すること。
2. 「心理学実験演習Ⅱ」、「同Ⅲ」、「同Ⅳ」、「同Ⅴ」、「心理学概論Ⅱ」（すべて必修）は第 3 年次に履修すること。
3. 「心理学概論Ⅰ」は、平成 28 年度までの「心理学概論（2）」と同一である。
「心理学概論Ⅱ」は、平成 29 年度までの「心理学概論（1）」と同一である。

4. 「心理学実験演習」、「心理学統計」、「情報メディア論」「電算機応用」のⅠ、Ⅱ等は、それぞれ平成29年度までの(1)、(2)等と同一である。
5. 心理学特殊講義は、開講されているものの中から選択して履修する。ただし、「心理学統計Ⅰ」および「心理学研究法」は前期課程2年次Aセメスターに履修することを強く推奨する。また、「心理学統計Ⅱ」、「心理学統計Ⅲ」、「電算機応用Ⅰ」、「電算機応用Ⅱ」は第3年次に履修することを推奨する。
6. 「心理学演習」(必修)は、開講されているものの中から選択して履修する。「東京大学文学部規則取扱内規」(本便覧に掲載)の「1. 演習」も参照すること。
7. 心理学に関する講義・演習は、他専修課程(とくに社会心理学)、他学部(とくに教育学部・教養学部)でも少なからず行われているので、適宜履修することが望ましい。
8. 卒業論文は、教員の指導のもとに、テーマを選び、実験ないし調査を計画、遂行し、その結果にもとづいて作成することを原則とする。この際、学生が相互に被験者をつとめることは、心理学の方法を実際に体得するうえからも、きわめて望ましいので、積極的に協力すること。

社会心理学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単 位
社会心理学概論	421	社会心理学概論Ⅰ・Ⅱ	4
社会心理学特殊講義	422	社会心理学特殊講義Ⅰ～Ⅴ 堀江 宗正ほか(04200031)「死生学概論」 村上 郁也(04204101)「心理学概論Ⅰ」 今水 寛/横澤 一彦(04204102)「心理学概論Ⅱ」 岡 隆(04204111)「心理学研究法」 小池 進介(04204149)「心理学特殊講義Ⅸ」 伊村 知子(04204150)「心理学特殊講義Ⅹ」 本間 元康(04204151)「心理学特殊講義Ⅺ」 坂田 省吾(04204152)「心理学特殊講義Ⅻ」 佐藤 健二ほか(04204301)「社会学概論」 三浦 直子(04204350)「社会学特殊講義Ⅹ」 瀧川 裕貴(04204351)「社会学特殊講義Ⅺ」 野辺 陽子(04204352)「社会学特殊講義Ⅻ」 三谷 武司(04204353)「社会学特殊講義ⅫⅢ」 西川 賀樹(04205501)「情報メディア論Ⅰ」 西川 賀樹(04205502)「情報メディア論Ⅱ」 中村 健太郎(04205506)「電算機応用Ⅰ」 寺尾 敦(04205507)「電算機応用Ⅱ」 荒木 剛(04205509)「精神医学」	12
社会心理学演習	423	社会心理学演習Ⅰ～Ⅵ	8
社会心理学実験実習	424	社会心理学実習Ⅰ「心理学実験」	4
社会心理学調査実習	425	社会心理学実習Ⅱ「社会心理学調査実習」	4
社会心理学統計	426	社会心理学統計Ⅰ「心理学統計法」	2
		社会心理学統計Ⅱ「心理学統計法Ⅱ」	2
卒業論文	429		
特別演習	428	社会的認知の理論的基礎	6
		集団行動の生態学的基盤と至近メカニズム	6
		社会文化心理学の諸問題	6

	社会心理学文献	6	
本専修課程修了に必要な単位			48
文学部の科目			28
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

社 心

【学修上の注意】

1. 卒業論文提出者および特別演習履修者は、当該年次までに、社会心理学統計 4 単位（社会心理学統計Ⅰ 2 単位，社会心理学統計Ⅱ 2 単位），社会心理学概論 4 単位，社会心理学特殊講義 6 単位，社会心理学演習 4 単位，社会心理学実験実習 4 単位 および 社会心理学調査実習 4 単位 をとっておくことが望ましい。
2. 社会心理学専修課程では上記の必修科目群のほか、「社会心理学実習Ⅲ」と「社会心理学実習Ⅳ」（2 単位科目）を提供しており，特に卒業論文による卒業を考えている者は履修することが望ましい。ただし，社会心理学実験実習および調査実習（必修）の単位を取得していない者には履修を認めないので注意すること。
3. 社会心理学の研究テーマは多彩な学問領域と関わりが深いので，文学部以外で提供されている講義にも注意をはらっておくこと。

社会学専修課程

平成 28 年度以降進入学者

必修科目名	コード	認 定 科 目	単位
社会学概論	431	社会学概論	4
社会学史概説	432	社会学史概説	4
社会学特殊講義	433	社会学特殊講義 鍾 以 江(04200024)「多分野講義Ⅳ」 堀江 宗正ほか(04200031)「死生学概論」 白岩 祐子(04204201)「社会心理学概論Ⅰ」 亀田 達也(04204202)「社会心理学概論Ⅱ」 宇佐美 慧(04204241)「社会心理学特殊講義Ⅰ」 渡邊 久哲(04204242)「社会心理学特殊講義Ⅱ」 山口 裕幸(04204243)「社会心理学特殊講義Ⅲ」 尾崎 由佳(04204244)「社会心理学特殊講義Ⅳ」 犬飼 佳吾(04204245)「社会心理学特殊講義Ⅴ」 高橋晃一/永崎研宣/大向一輝(04205011)「人文情報学特殊講義Ⅰ」 松田 陽(04205021)「文化資源学入門Ⅰ」 野村 悠里(04205022)「文化資源学入門Ⅱ」 六反田 豊(04205241)「韓国朝鮮文化特殊講義Ⅰ」 六反田 豊(04205242)「韓国朝鮮文化特殊講義Ⅱ」 金 成 垣(04205245)「韓国朝鮮文化特殊講義Ⅴ」 金 成 垣(04205246)「韓国朝鮮文化特殊講義Ⅵ」 清水 亮(04205401)「文化環境学特殊講義Ⅰ」 清水 亮(04205402)「文化環境学特殊講義Ⅱ」	12
社会学演習	434	社会学演習	8
社会調査	435	社会調査	4
卒業論文	439		12
本専修課程修了に必要な単位			44
文学部の科目			32
他学部の科目（教育実習を含む）			
卒業に必要な単位			76

【学修上の注意】

1. 本年度の演習は教員の専門別に3・4年合同で行なう。3年から4年にあがる際、他の演習に変わることは自由。ただし都合により参加者の数を調整することがある。
2. 卒業論文提出者は、前年度までに、社会学概論4単位、社会学史概説4単位、社会学特殊講義8単位、社会学演習4単位、社会調査4単位はとっておくこと。
3. 社会調査実習を伴う授業科目を、卒業するまでに履修することが望ましい。
4. 文学部以外にも社会学の講義のあることに注意。たとえば、法社会学（法学部）・教育社会学（教育学部）・健康社会学（医学部）、また、情報学環の講義など。
5. 各人の関心領域に応じて、社会学の講義だけでなく、他専修課程・他学部の講義にも注意をはらっておくこと。たとえば社会心理学・心理学・哲学・倫理学・宗教学・文化環境学共通科目・歴史学関連・政治学・経済学・経営学・文化人類学・統計学・応用倫理など。